

ロンドン 2024 年 9 月 30 日

ウルサンアルミニウムの熱間圧延仕上げミル向け自動化システム更新を受注

- レベル 1 とレベル 2 の自動化システムを近代化
- IT セキュリティの向上と将来を見据えた操業を実現
- 稼働開始は 2025 年 10 月の予定

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は、韓国アルミニウムメーカー、ウルサンアルミニウム (Ulsan Aluminum) がウルサン (蔚山) に持つ 3 スタンドの熱間圧延仕上げミル向け自動化システムの包括的な更新工事を受注しました。

レベル 1 とレベル 2 自動化システムを近代化

工事範囲は、レベル 1 とレベル 2 の自動化システムの更新、全サーバーの仮想化、プロセス自動化システムの HMI 近代化などです。

本工事による主なメリットには、IT セキュリティの大幅な向上、OPEX コストの削減、将来を見据えた操業があります。また、デジタルアシスタントやその他のデジタル化ソリューションがスムーズに統合されます。

2013 年、当社はウルサンアルミニウムに熱間圧延機を納入しました。この圧延機は、アジア市場で自動車用板材の生産に進出する同社の計画の一環として、既存の熱間リバーズツイニング圧延機に追設され、生産能力を向上させました。入側板厚は 25~60 ミリメートル、出側板厚は 1.8~6 ミリメートルです。

製品品質の向上

全システムが仮想サーバーで運用されるため、メンテナンスの必要性が減り、デジタルサービスの拡張が迅速になります。近代化後は、製品品質と生産性がともに向上します。2025 年 9 月から 10 月に工場の操業を停止し、工事を実施する予定です。

ウルサンアルミニウムは、ノベリスと神戸製鋼の合併会社として 2017 年に設立され、自動車、飲料缶、特殊アルミニウム用途など、さまざまな市場にアルミニウム圧延平板製品を供給しています。ウルサン工場の年間生産量は 40 万トンです。



プライメタルズ テクノロジーズは、ウルサンアルミニウムの熱間仕上げミル向け自動化更新工事を受注しました。



2024 年 7 月のキックオフミーティングにて、ウルサンアルミニウムとプライメタルズテクノロジーズの代表者たち



ウルサンアルミニウムは、アジア市場におけるアルミニウム圧延平板製品のリーディングサプライヤーです。

本プレスリリースと画像（報道での使用は無料）は www.primetals.com/press/ に掲載しています。

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：石崎）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ SNS 公式アカウント

[linkedin.com/company/primetals](https://www.linkedin.com/company/primetals)

[facebook.com/primetals](https://www.facebook.com/primetals)

twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工業グループ 100%出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約 7,000 人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : primetals.com/jp